

25年前、長期間家庭に引きこもっていた子どもたちは、たくさんあすなるに入院していた。親御さんは精神科に入院させる決心をどのような思いでされたのであろう。それでも10年後、あすなる学園祭にきてくれた青年が「あの時は無理やり入院させられ腹も立ったが、入院しなかったら今の僕はいなかったと思う。」と言ってくれたことを思い出す。チェーン店の店長となった青年が「ぼくは学校行けないこと悩んでいたけど、今

雇ってる人が無断欠席して平気なんですよ。それってありかなと思う。自分はよくやってきたと思うようになった。」と苦笑していたことも思い出す。子どもが不登校になったと連れてきた元不登校の女の子もいた。みな懐かしい便りである。懐かしさが余裕をもたらし不安を消してくれ、なんとかかなと力をくれるように思う。

生きていくことは決して楽ではないけど、頑張れとエールを送りたくなる。

三重県自閉症・発達障害支援センター便り

－シリーズ(2)－ 支援センターのご紹介

今回は、自閉症・発達障害支援センター事業に取り組んでいる3施設のうち、「れんげの里」についてご紹介します。

「れんげの里」

三重県自閉症・発達障害支援センターの紹介

れんげの里では、相談員1名体制で相談支援を中心に行なっています。相談支援は、主にお電話をいただくことから始まりますが、電話だけでは実際の様子がつかめないことが多く、保育所・学校・作業所等の訪問・本人の様子の観察・研修の開催や参画など、本児をとりまく関係者（保護者・保育士・教諭・保健師・行政・作業所職員等）と連絡をとりながら、対応について一緒に考えています。

家庭生活での対応、制度利用、保育所・学校・療育センター・作業所等での対応、進路・就労相談、自閉症児者自身が抱える悩みなど、相談内容は多岐にわたっています。また、母親の心理的サポートが重要であると感じています。様々な専門機関からの確なアドバイスをもらっているケースが多く、親御さんもかなり勉強されているという印象をうけています。しかし、「頭でどうすべきか分かっているけど、現実にはうまくいかない。いけないと分かっているけどやってしまう。」という親御さんの気持ちを理解し受け止めていくと

いう姿勢を大切にしていきたいと思っています。

皆様からのご意見やご指導をいただきながら、自閉症等の発達障害のある方が地域で暮らしやすくなるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

～次回は「あさけ学園」についてご紹介します～

ご利用を希望される方は まずお電話ください

☺ 三重県自閉症・発達障害支援センター

(県立小児心療センターあすなる学園内)

津市城山1丁目12番3号

TEL・FAX 059-234-6527

☺ あさけ学園

三重郡菰野町杉谷1573

TEL 0593-94-1595

FAX 0593-94-1985

☺ れんげの里

度会郡大宮町滝原字沼1195-1

TEL 0598-86-3911

FAX 0598-86-3322